

上腕骨近位端骨折術直後の上腕骨頭下方移動が手術成績に与える影響に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター整形外科では、「上腕骨近位端骨折術直後の上腕骨頭の下方移動が手術成績に与える影響の検討」に参加することになりました。

この研究の目的は、上腕骨近位端骨折の患者さんの治療結果を調べて、術直後の上腕骨頭下方移動がどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。

この研究のため、2006年4月1日より2020年3月末までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは上腕骨近位端骨折で手術を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（年齢、性別、骨頭下方移動の有無、術後合併症の有無など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは個人情報を除いて本研究の代表であります済生会宇都宮病院整形外科研究責任者に記録媒体を手渡しし、厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については(<https://www.saimiya.com/consult/clinical/orthopedics.html>)をご覧ください。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2020年12月

研究責任者 辻阪 亮介
東京医療センター 整形外科
連絡先 03-3411-0111(代表)